

2023 年度創発プロジェクト報告書

プロジェクト名：DAIKEI 防災ネット

代表者名（学部学科・学年）： 榎木涼（人間科学部人間科学科・3 年）

1. 目的と概要：

Instagram を中心とした SNS を活用し、防災や災害に関する情報をまとめて発信。大経大生はもちろん、世間に対して防災と災害に関する情報を広げ、知識を得てもらうほか、普段から知識への関心を持ってもらう。

2. プロジェクト開始からの活動内容（おおよその内容を月別で記載）：

- 9 月：阪神淡路大震災の経験を語り継ぐ目的で設立された「人と防災未来センター」を見学。記事を投稿。
- 10・11 月：大学の防災担当者である総務課・山田さんに、大阪経済大学の防災についてインタビューを実施。記事を投稿。
- 12 月：ポスターセッションのプロジェクトの準備
- 1 月：15 日よりラーニング・コモンズのポスター掲示、26 日にセッションを行うとともに、発表動画を投稿。
- 2 月：9 日でポスター掲示終了、14 日に大学で行われた防災訓練にメンバー3 人が参加。大学関係者のみなさんと一緒に活動した。

3. このプロジェクトが周囲にもたらした影響や効果：

図書館ラーニング・コモンズや Instagram での発信によって、異なるチャンネルで違う人の目につく形で防災や災害に対する知識を広められた。

4. 反省点・今後の展望（計画）・その他コメント等：

- ・メンバー募集やスケジュールを進めていく中での段取りに課題が多く、様々な段階で苦労した。ただ、リーダーとして行き詰って困っているとき、周囲のメンバーによるサポートがあったことで乗り越えられ、なんとか形にすることができた。
- ・SNSでの発信に依存するがあまり、受け手の気持ちを考えず、発信することが目的となってしまう。その点で、アナログではあるがポスターセッションのような機会は伝えるという目的においてとても重要であったと再認識した。
- ・1月1日に能登地方地震が発生し、あらためて防災への備えについての必要性を実感した。後輩に引き継ぎながら今後も防災に関わる活動を継続していきたい。

5. 実施メンバー

代表者： 榎木涼（人間科学部・3年）
構成員：佐原茉奈実（経済学部・3年）
井口翔麻（経済学部・2年）
山下雄雅（人間科学部・1年）

※その他参考となる資料・画像・Web ページがあれば別途掲載



卒業生による能登半島地震体験談



以上



メンバーによるポスターセッション



新聞紙を利用した防災グッズ体験